

(様式2)

県立高校改革（I期）指定事業 単年度計画書（平成28年度）

学 校 名	湘南台高等学校（全）	校 長 名	相原 一孝
指定事業	教育課程研究開発校 新科目「公共」		
研究主題	シチズンシップ教育を理念とした新科目「公共」の研究開発 ～「18歳の段階で身に付けておくべき力は何か」という観点から「社会に開かれた教育課程」を構想するには～		
3年間の目標	6年間におけるシチズンシップ教育研究指定校としての成果と取り組みを踏まえ、教科「公共」に係る教育課程の研究開発を行い、「18歳の段階で身に付けておくべき力とは何か」という観点から「社会に開かれた教育課程」を構想し、公民科をはじめとする各教科・科目において生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした授業改善がなされ、これからの時代に求められる資質・能力の育成と社会に積極的に参画する意識の醸成に向けた教育活動を充実させる。		
本年度の研究内容	<p>(1) 目標 次期学習指導要領改訂に向けた中央教育審議会の議論に注目し、新科目「公共」をはじめとする高校教育改革の動向に関する情報収集を行い、職員間の共有と研修を行う。</p> <p>(2) 目標実現のための具体的な手立て ○参議院議員通常選挙が行われる年であることから、全校生徒を対象とした模擬投票を実施する。 ○これまでのシチズンシップ教育の取組を踏まえつつ、「18歳の段階で身に付けておくべき力は何か」という観点から、「社会に開かれた教育課程」像を構想する。 ○公民科科目において、新科目「公共」の在り方（育成すべき資質・能力、指導内容、生徒の学びの姿）を本校独自の視点から検討していく。 ○公民科をはじめとする各教科・科目において、シチズンシップ教育を理念としたアクティブ・ラーニング（例えば、討論やディベートなど）の推進を図り、生徒の学びの姿を検討する。 ○「シチズンシップ（総合的な学習の時間）」において、より一層の充実化・体系化を図るとともに、生徒の学びの姿を検討する。 ○新科目「公共」はキャリア教育の中核となる時間とされることから、従来取り組んできたキャリア教育の取組との連携の方策を検討する。 ○外部関係機関との連携の在り方を検討する。 ○地域の県立高校との情報交換を行い、シチズンシップ教育の成果を普及する。</p> <p>(3) 検証方法 ○シチズンシップ教育を含む新科目「公共」の評価規準の作成を行う。 ○シチズンシップ教育を含む新科目「公共」の評価規準を踏まえ、在校生や卒業生へのアンケートや教職員へのアンケートを通して教育効果の検証を行う。</p>		
研究体制	推進主体として「新科目「公共」に係る研究推進会議」を置き、広報・研究グループがこれを主管する。		
その他特記事項	特になし		